



家庭(保護者)・保育士・栄養士と連携し、 信頼関係をつくる。



コロナウイルス感染対策

●子ども ◆保育者

3歳未満児

- 「食事は楽しい」と感じられる
- 「自分で食べたい」を大切に

たんぼぼ組(0歳児) 6ヵ月～1歳6ヵ月

- 手づかみ食を中心とした食事を大切にし、スプーンを持って口に運べるようになる
- 空腹になってから、ミルクを飲んだり、離乳食を食べたりするというリズムが出来る
- ◆「おいしいね」などの言葉かけを大切にしながら食事を楽しむ
- ◆安心して食事ができる環境づくりと一人一人の発達に合わせた援助をする
- ◆栄養士と連携し、子どもの成長に合わせた食事を目指す
- ◆手づかみしやすいメニューを取り入れる
- ◆離乳開始時には、保護者・担当保育士・栄養士で話し合いを重ねて進めていく

たんぼぼ組(1歳児) 1歳6ヵ月～2歳未満

- スプーンを持って食べる
- スープ・お茶等は、器を両手で持って飲む
- 幼児食で、多くの食感や味覚を味わう
- ◆子どもとの信頼関係をつくり、安心して食事が出来る環境作りをする
- ◆自分で食べようとする意欲をサポートする
- ◆こぼしても見守り「上手に食べれたね」、「おなかいっぱいになったね」子どもの気持ちに寄り添った声かけをする

すみれ組(2歳～)

- 散歩の中で自然に触れ、田畑の野菜や果物に興味を持つ
- スプーンやフォークを持って自分で食べる意欲を持つ
- 食事のマナーや挨拶(いただきます・ごちそうさま)を知る
- 一緒に食べる楽しさを味わう
- ◆「美味しいね」「良いにおいがするね」「何が入っているかな」等(五感を使う)声掛けを大事にする

3歳以上児

- コロナウイルス対策
食事前の丁寧な手洗い、消毒を徹底する
食事の席は、間隔をとる
- 味見当番が始まります

ばら組(年少)

- スプーン・フォークを使ってこぼさず食べる
⇒箸の練習をする
(食事中には注意しない。遊びの中で始める)
- 給食を楽しみにする
(メニューを気にしたり、話題にする)
- 共食の楽しさを味わう。
- 食事のマナーを身につける。

ゆり組(年中)

- いろいろな味が分かり、食材に興味を持つ
- 箸で上手に食べられるようになる
- 食事のマナーを身につける
- 野菜栽培を通して、「育てる」・「食べる」・「喜び」を味わう
- 栄養表グループ表を見て、食材の栄養が分かる

きく組(年長)

- 食事のマナーを身につける
- 感謝の気持ちを持つ
- 箸を使って食べる事に慣れる
- 食物の栄養と自分の体との関わりについて知る

